

TYPE OF INDUSTRY

経営力を

高めよう

中小企業診断士に聞く

1

経営コンサルタントの国家資格として、幅広い知識やスキルを持つ中小企業診断士。社会を取り巻く環境が厳しさを増す中、中小企業の経営力向上のための診断や助言を行う専門家として、その需要は中小経営者の間で大きく高まっている。中小企業の経営課題について診断士に対応策などを聞く。（5回連載）

事業承継支援にお
づくりや組織論など幅
ける診断士の強みは何
広い知識を持つている
ですか。

①経営者の悩みに
業庁の事業承継施策に
耳を傾ける傾聴力があ
精通しているの三つ
②経営だけでなく人
だ。診断士は資格を維

事業承継

持・更新するために毎年知識と実務を取得している」

— 経営者に共通する悩みや相談は、どのようなものですか。

「後継者がいない、えが過半数を占める。背景にあるのは、現社長の歳をとつても事業にしがみついて若い人が成長を止めてしまう」

「現社長の高齢化によ

幹部のトツプ昇格がベスト

「後継者は社員の中から昇格ができればベスト。仕事ができれば経営幹部がトツプになるわけだから、後は社長として経営手法や分析方を

「辞めていく現社長

「資金・人・法律」の知識を補うことで能力は一気に向上する」

「診断士は後継者の

「後継者塾」も開いてサポートしている」

「診断士の仕事として、企業や事業者に対して経営手法や分析方を

「早めに着手するこ

「後継者のそばに付く伴



事業承継センター会長
内藤 博氏

ないとう・ひろし 東京都中小企業診断士協会会員。75年（昭50）法大経卒。95年モーターマガジン社取締役。02年中小企業診断士として独立。11年事業承継センター創業し社長、18年会長。著書に「会社の終活」読本「社長のリタイア（売却・廃業）ガイド」（日刊工業新聞社）など。神奈川県出身、66歳。

えなければいけない。社内の幹部に継がせるということは株式の買収ということになる。他人間の移動は価格形成、納税、退職金などの要素が複雑に絡むため、税理士の専門分野と言われていた部分に大きな隙間ができてい

（山下絵梨）
（木曜日に掲載）

モノづくり基盤・成長企業